



平成29年8月24日
No.71

社協だより



ご挨拶

社会福祉法人 大田市社会福祉協議会

会長 西 村 俊二

この度の役員改選によりまして、会長に就任することとなりました。地域住民の皆様には、これまで同様、社会福祉協議会の活動にご支援ご協力賜りますようにお願い申し上げます。

さて、平成29年度も4ヶ月が過ぎ、昨年度策定した「第2次大田市地域福祉活動計画」に沿った地域福祉活動に取り組んでいるところです。これまでの事業を継続することはもちろんですが、地域

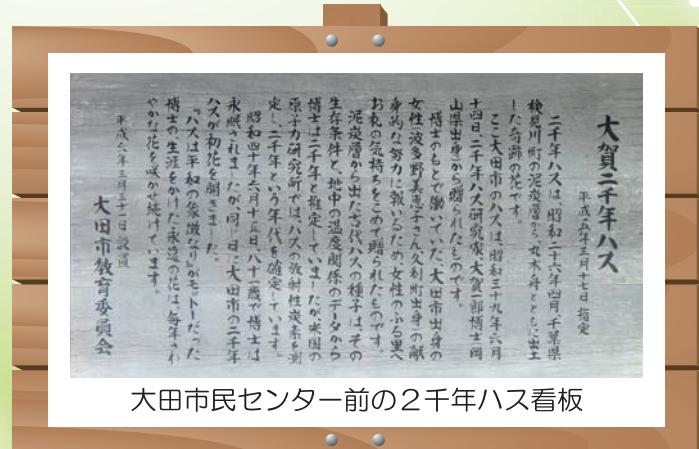
福祉の更なる充実に向け、

住民の皆様方のご理解、ご協力を得ながら、「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を

目指して、行政と一体となつて取り組まなければならぬと思つております。

特に社会福祉法の改正に伴う法人運営体制の強化、地域包括ケアシステムの構築、様々な生活課題を抱える方々への相談支援体制の強化と支援策の充実など複雑多様化する地域の生活課題に対応するため、各地区の社会福祉協議会に担当職員制をとり、積極的に地域へ出向き、様々な福祉活動を開展しながら、住民の皆さんから信頼される組織づくりに役職員一丸となり努力をいたしました。

今後とも、地域住民の皆様、関係機関・団体の皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



大田市民センター前の2千年バス看板

成
度
平
28
年
度

社会福祉法人
大田市社会福祉協議会

事業報告

概要

本会は、住民相互のつながりや支え合いによる福祉のまちづくりに向け、本年度最終年となります「大田

市地域福祉活動計画」に基づき「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指し、地域における福祉活動の推進に努めるとともに、平成29年度から実施いたしました「第2次大田市地域福祉活動計画」を策定いたしました。

また、社会福祉法の改正に伴い、定款や経理規程を改正するなど新しい法人運営に関する体制強化を図りました。

さらに、東日本大震災から6年を迎えたことから、本市においては東日本大震災を教訓に、ボランティアセンターの充実を図るとともに地区社会福祉協議会や関係機関と協力し、島根県社会福祉協議会との共催による「災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座」を開催し、災害時における災害ボランティアセンター運営訓練を行い、災害時における対応方法等について貴重な体験を得ることができました。

生活困窮者自立支援事業については、多様化・複雑化する課題に対する相談窓口として「生活サポートセンターおおだ」において、家計相談、就労相談のほか、緊急現金や食糧支

援による緊急的支援を行うとともに、困窮状態から脱却できるよう総合的な支援を関係機関と連携を図りながら取り組みました。

介護予防に関する事業では、新たに生活支援体制整備事業を受託し、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、地域において生活支援を図り、支え合いの体制が設けられるよう生活支援コーディネーターを配置し、地域の関係団体等と地域における生活課題の把握を行なながら、市内5地区に立上つた「高齢者の通いの場づくり」のモデル

地区に対して、毎月1回以上は出向いていき運営の支援を行なながら、今後立上げを検討されている地域に対して、訪問・説明等を行いました。

法人運営事業

1. 理事会（4回）
2. 評議員会（3回）
3. 監査会（1回）
4. 評議員選任解任委員会（1回）
5. 広報活動

- ・ 社協だより発行（6回）
- ・ ホームページ

地域福祉推進事業

1. 第2次大田市地域福祉活動計画の策定

- 第2次大田市地域福祉活動計画を策定し、大田市が策定する第2次大田市地域福祉計画と一冊にまとめて、連携して地域福祉活動の展開が図られるよう共同で発行した

- 修会等の周知を図るなどの広報活動の充実を図るために、ホームページを開設いたしました。

2. 地区社会福祉協議会活動支援及び連携強化

- 今年度の事業につきましても、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童センターおおだにおいて、家計相談、

就労相談のほか、緊急現金や食糧支

のご理解とご協力をいただきながら、概ね計画通り事業を推進してまいりましたが、今後、地域の中での福祉活動の場が増えることに伴う人材の確保や日常生活自立支援事業において、支援員の不足など福祉活動に協力していただけるボランティアの育成が急務の課題であり、本会が実施する各種の講座や研修会の開催を通じた人材養成の必要性があります。

平成28年度に実施いたしました、事業は以下のとおりです。

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| (1) 地域研修事業（27地区社協で実施） | 新規指定：5グループ |
| (2) 地域ふれあい交流事業（24地域） | 市内サロン総数：148グループ |
| (3) 地区社会福祉協議会活動支援事業 | 助成金の交付 |
| (4) 地域研修事業（27地区社協で実施） | ・ 福祉委員活動について (11地区社協) |
| (5) 地域研修事業（27地区社協で実施） | ・ 地域づくりに関する研修 (16地区社協) |

- (1) 地区社会福祉協議会連絡会の開催

- (2) ふれあい・いきいきサロンづくり

- 活動推進事業

- ・ 民間助成事業の周知
- ・ 民間助成ニユース速報（月
- 2回）を関係機関へ周知

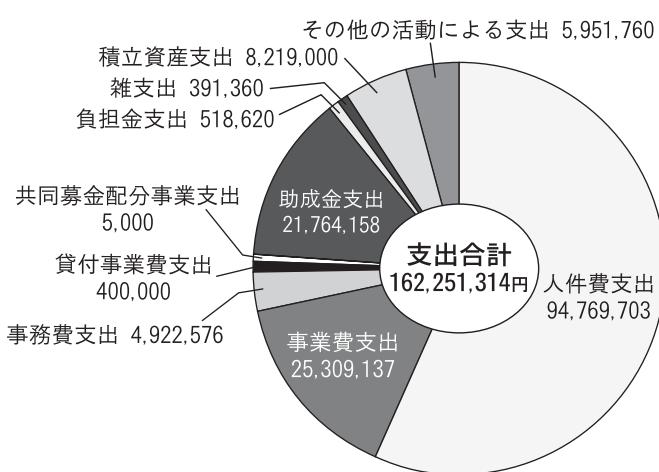
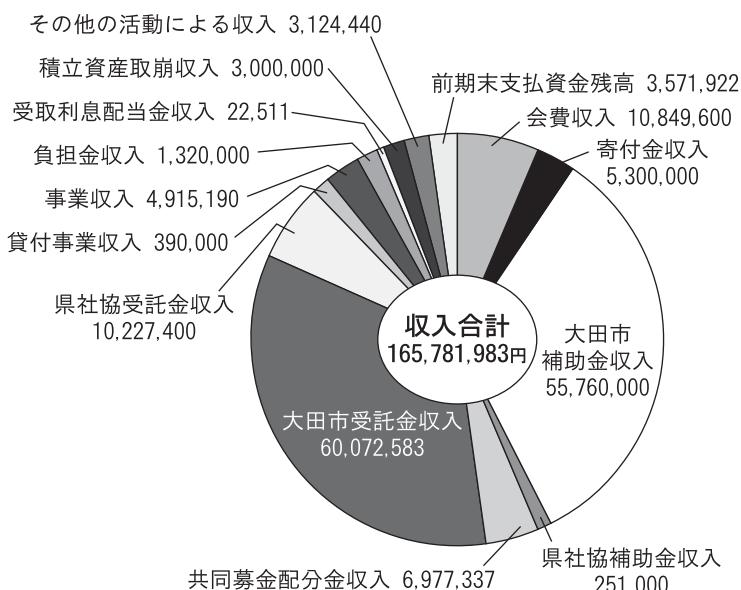
- ・申請希望団体への申請に係る支援
 - ・申請時の相談、助言及び団体推薦書等の作成：3件
 - ・山陰中央新報社会福祉事業団「愛のともしび募金」助成事業申請事務
 - ・大田市から6団体が採択
 - ⑤収集ボランティア活動
 - ・使用済み切手：22枚
 - ・ブルタブ：24件
 - ・ペットボトルのキャップ：29件
 - ⑥ボランティア研修等の他機関との連携
 - ・病院ボランティア養成講座への協力（障がいに関する講座・疑似体験）
 - ・こころの健康ボランティア養成講座実行委員会への参加
 - ①緩和ケア啓発活動
 - ・構成団体：医療機関、民間団体、一般住民、訪問看護ステーション、介護保険事業所、地域包括支援センタ、行政機関等会員49名
 - ・活動内容：緩和ケアの啓発活動
 - ・座談会回数：5地区で開催開催
 - ②自死予防対策
 - ・大田圏域自死予防対策連絡会への参加
 - ・大田市自死対策検討会への参加
 - ・自死予防週間啓発活動への参加
- ・ゲートキー研修会への参加
 - (3) 災害時支援に関する活動
 - ・大田市総合防災訓練への参加
 - ・災害ボランティアセンター運営者・運営支援者養成講座の共催
 - 及び参加
 - (4) 障がい者スポート大会開催事業
 - ・リフト付自動車の運行（年間利用者数 221名）
 - (5) 重度身体障がい者移動支援事業
 - ・バスハイキング事業の実施
 - ①視覚障がい者の集い
 - (6) 生活訓練事業
 - ・島根県・市町村社会福祉協議会派遣
 - ・島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定の締結
 - ・機材・用具等の貸出し
 - ・車イスの貸出し：19件（貸出し延べ台数44台）
 - ・体验學習用品の貸出し：7件（貸出し延べ台数44台）
 - ・軽スポーツ・レクリエーション及びイベント用具の貸出し：163件
 - (7) 地域生活アシスタンント事業
 - ・知的障がい者地域生活協力員養成講座
 - ・相談件数：106件
 - ・(ふれあいフェスティバルおおだ)
 - ・(10) ボランティア活動支援事業
 - ・(9) 家族相談員紹介事業
 - ・(11) 地域福祉サポートセンター養成講座
 - ・聞こえのサポートセンター養成講座
 - (8) 藝術・文化講座開催等事業
 - ・(7) 地域生活アシスタンント事業
 - ・(8) 藝術・文化講座開催等事業
 - ・(9) 家族相談員紹介事業
 - ・(10) ボランティア活動支援事業
 - ・(11) 地域福祉サポートセンター養成講座
 - ・(12) 地域福祉サポートセンター養成講座
 - (9) 基本的サービスの実施
 - ・(1) 奉仕員養成事業
 - ① 点証奉仕員養成講座
 - ② 手話奉仕員養成講座
 - ③ 手話奉仕員フオローアップ研修
 - ・(2) 技術ボランティア団体の活動支援
 - ① 点証奉仕員養成講座
 - ② 手話奉仕員養成講座
 - ③ 手話奉仕員フオローアップ研修
 - ・(3) 点字・声の広報等啓発事業
 - ① 点字広報の発行：毎月1回(12回)
 - ② 音訳広報の発行
 - (10) 福祉バス運行事業
 - ・利用団体数：53団体
 - ・利用回数：172回
 - (11) 高齢者福祉事業
 - ・(1) こころのたより発送事業
 - ・対象者 1,983名
 - ・(2) 地域介護予防活動支援事業
 - ① 地域介護予防活動支援事業
 - ② スタッフ会
 - ・ふれあいきいきサロン・介護予防活動団体交流会
 - ・(3) 全体研修（リーダー研修）
 - ① ふれあい・いきいきサロン研修会
 - ② 地域福祉研修会
 - ・(4) 第1回地域福祉研修会「地域で取り組む介護予防のまちづくり」
 - (12) 福祉教育の推進
 - ・ふくしの学び合い推進事業（県立協モデル指定事業）
 - ① 障がいと高齢者への理解及び体験学習（小・中・高校生）
 - ② サマーボランティア活動（中・高校生）
 - ・(3) 福祉委員活動の推進
 - ④ 地域住民を対象とした福祉出前教室
 - ・(4) 地域住民を対象とした福祉出前教室
 - ・(5) 福祉委員活動の推進
 - ・(6) 地域住民を対象とした福祉出前教室
 - ・(7) あいサポート研修：10回
 - ・(8) 食育に関すること：147回
 - (13) 第2回地域福祉研修会「新たな通いの場づくりについて」
 - ・(1) モデル指定地区（5地区）への支援
 - ・(2) 大田市健康・生きがいづくりフェスティバルの開催
 - ・(3) 大田市健康・生きがいづくりフェスティバルの開催
 - ・(4) 元気づくりプログラム研修事業
 - ① 地区研修（27地区 155団体）
 - ② 大田市健康・生きがいづくりフェスティバルの開催

生活支援事業

| | | | | |
|----------------------------------|-------------------|------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 5. | 4. | 3. | 2. | 1. |
| ・平成28年度貸付実績 件数 : 20件 | ・資金相談対応件数 : 249件 | ・相談件数 : 2,190件 | ・相談件数 : 8件 | ・相談件数 : 16件 |
| ・平成28年度貸付決定期数・金額 : 6,612,000円 | ・生活支援員研修会(2回) | ・(1) 利用件数 : 94件 | ・(1) 相談支援の実績 ・相談支援件数 : 296件 | ・(1) 一般相談 ・相談件数 : 311件 |
| ・民生融金貸付事業 | ・(2) 利用件数 : 9件 | ・(3) フードバンク事業(ひとり一品運動) | ・(2) 広報・啓発 ・緊急一時的支援の実施状況 : 69件 | ・(2) 専門相談(法律) |
| ・平成28年度貸付実績 円 : 400,000円 | ・(3) 生活支援員研修会(2回) | ・食料寄付件数 : 34件 | ・(1) 関係機関と連携し生活困窮者自立支援事業についての研修 5回 | ・(3) 石見法律相談センターパソコン面談相談 |

資金収支決算

期間: 平成28年4月1日
～平成29年3月31日まで
(単位: 円)



当期末支払資金残高 3,530,669円

成年後見事業

- (1) 法人後見事業
 - ・受任件数 : 3名
 - ・法人後見運営委員会 : 1回
 - ・成年後見支援センター事業
- (2) 大田市成年後見支援センター運営委員会(2回)
 - ・相談件数 : 20件
 - ・市民後見人の推薦監督
 - ・ノート出前講座
 - ・開催個所数 : 7ヶ所

(5) 出雲成年後見センターとの連携
及び定例会への参加
・事例検討会参加 : 12回
・成年後見意識啓発セミナー講演会参加

利用者総数 : 23,118名

仁摩老人福祉センター(びしゃもん)
・市内利用者数 : 9,364名
(1) 受入合計 : 2,052,436円
(2) 市外利用者数 : 1,56名
(3) 収入合計 : 2,052,436円

共同募金配分事業

- 1. 大田老人福祉センター
 - ・助成実績額 6,972,337円
 - ・募金実績額 9,769,473円
 - ・利用団体総数 : 759団体

(5) 出雲成年後見センターとの連携
及び定例会への参加
・事例検討会参加 : 12回
・成年後見意識啓発セミナー講演会参加

その他社会福祉の推進

- 1. 各関係機関・団体との連携強化並びに活動支援
 - (1) 関係機関等との連携
 - (2) 事務局受託事業・支援
 - (3) その他関係機関・団体等

財產目錄

平成29年3月31日
(単位:円)

| 資産・負債の内訳 | 金額 | 資産・負債の内訳 | 金額 |
|-----------------------|-------------|-----------|------------|
| ○資産の部 | | ○負債の部 | |
| ◇流動資産 | 8,176,480 | ◇流動負債 | 4,645,811 |
| 現 金 | 0 | 事業未払金 | 1,674,682 |
| 普 通 預 金 | 7,517,085 | その他の未払金 | 2,371,561 |
| 事 業 未 収 金 | 114,480 | 預 り 金 | 599,568 |
| 未 収 補 助 金 | 75,000 | ◇固定負債 | 60,780,470 |
| 前 払 費 用 | 469,915 | 退職給付引当金 | 60,780,470 |
| ◇固定資産 | 154,627,885 | 負債の部合計 | 65,426,281 |
| 基 本 財 产 | 3,000,000 | 差 引 純 資 産 | 97,378,084 |
| 定 期 預 金 | 3,000,000 | | |
| そ の 他 の 固 定 資 产 | 151,627,885 | | |
| 建 物 | 0 | | |
| 車 輛 運 搬 具 | 160,842 | | |
| 器 具 及 び 備 品 | 102,248 | | |
| ソ フ ト ウ エ ア | 0 | | |
| 民 生 融 金 貸 付 金 | 1,332,000 | | |
| 退職手当積立基金預け金 | 60,780,470 | | |
| 地 域 福 祉 推 進 活 動 積 立 金 | 83,890,000 | | |
| 財 政 調 整 積 立 金 | 4,824,115 | | |
| 寄 付 車 輛 整 備 費 等 積 立 金 | 504,000 | | |
| そ の 他 の 固 定 資 产 | 34,210 | | |
| 資 产 の 部 合 计 | 162,804,365 | | |

貸借対照表

平成29年3月31日
(単位:円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|--------------|-------------|---------------|-------------|
| ○資産の部 | | ○負債の部 | |
| ◇流動資産 | 8,176,480 | ◇流動負債 | 4,645,811 |
| ◇固定資産 | 154,627,885 | ◇固定負債 | 60,780,470 |
| 資産の部合計 | 162,804,365 | 負 債 の 部 合 計 | 65,426,281 |
| (脚注) 減価償却累計額 | 18,011,955円 | ○純資産の部 | |
| | | ◇基 本 金 | 3,000,000 |
| | | ◇国庫補助金等特別積立金 | 0 |
| | | ◇その他の積立金 | 90,888,115 |
| | | ◇次期繰越活動収支差額 | 3,489,969 |
| | | 純 資 産 の 部 合 計 | 97,378,084 |
| | | 負債及び純資産の部合計 | 162,804,365 |

社会福祉法人大田市社会福祉協議会役員名簿

任期：平成29年6月20日から平成31年6月開催の定時評議員会終結のときまで

役員（理事15名、監事2名）

(平成29年6月26日現在)

| 監 事 | 監 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 理 事 | 副 會 長 | 會 長 | 役 職 | |
|----------|---------|----------------------------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|-------------|----------|---------|--------|
| 清 し | 金 かま | 知 ち 野 の 見 み | 蓮 れん | 山 やま | 森 もり | 持 もち | 寺 てら | 清 し | 河 かわ | 尾 お | 江 え | 泉 いずみ | 瓜 うり | 岩 いわ | 大 おお | 西 にし | 氏 し |
| 水 みず | 谷 たに | 花 げ | 下 した | 山 やま | 田 だ | 本 もと | 水 みず | 原 はら | 崎 ざき | 下 げ | 原 はら | 坂 さか | 谷 たに | 築 つき | 村 むら | | |
| | 好 よし | 清 せい | 正 まさ | 美 よし | 賢 けん | 楨 まき | 功 いさ | 克 かつ | 秀 ひで | 治 はる | 芳 よし | 省 しよう | 正 まさ | 和 かず | 俊 しゅん | | |
| 勝 まるる | 孝 たか | 二 じ | 晴 はる | 明 あき | 勝 しよう | 予 こ | 予 こ | 典 のり | 之 ゆき | 代 よ | 久 ひさ | 三 ぞう | 之 ゆき | 博 ひろし | 之 ゆき | 二 じ | 名 な |

老連だより

第12回 グラウンドゴルフ大会

第12回大田市老人クラブ連合主催のグラウンドゴルフ大会を、7月7日(金)大田市総合運動場で開催いたしました。

やや曇りで雨が降りそうな天気でしたが128名の会員の参加で熱戦が展開され、ホールインワンも34本とたくさん出ました。

結果は次の通りです。

<団体の部>

- 優勝 大田ことぶき会A
- 準優勝 長久長和会C
- 第3位 朝山朝寿会

<個人の部>

- 優勝 馬庭保夫(大田ことぶき会)
- 準優勝 柳浦好則(池田永生会)
- 第3位 小田弘治(長久長和会C)
- 第4位 岡田洋治(長久長和会C)
- 第5位 森長重雄(水上銀笑会)

<特別賞>

- ダイヤモンド賞
馬庭保夫(大田ことぶき会)
- ホールインワン賞 34本



6月22日(木)、大田市民センターに於いて「友愛活動リーダー研修会」を開催しました。

各単位クラブより70名の参加がありました。

今回は、大田警察署から、高齢者の交通事故内容・特殊詐欺被害内容についてスライド・寸劇でわかりやすく講義をしていただき、大田市の老人クラブから交通事故・詐欺被害を出さないようにと皆さん真剣に聞いていました。

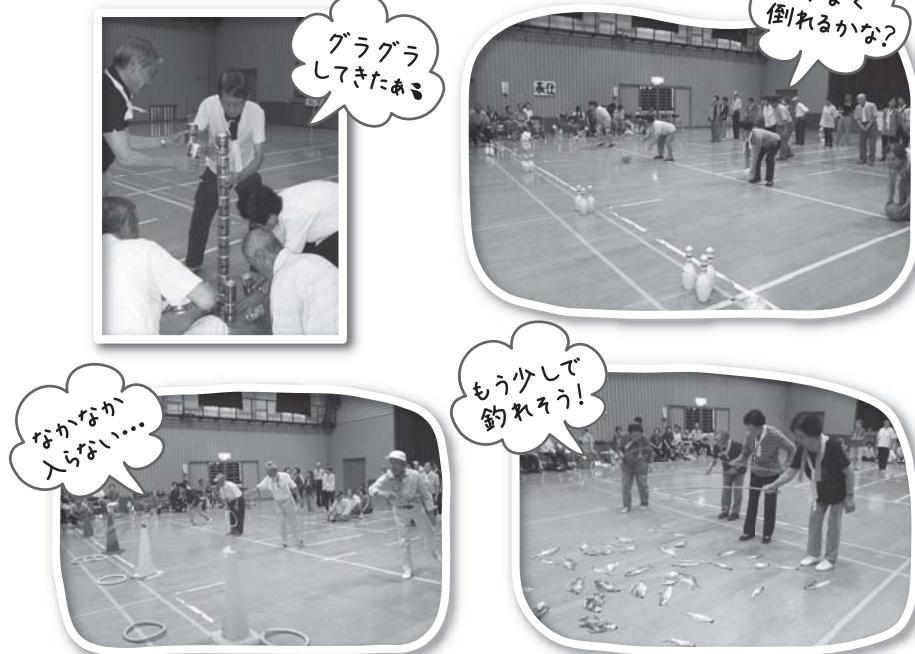
又、社会福祉協議会より、地域介護予防活動支援事業についての説明を受けました。

次回

行事予定

| | | | |
|----------|---------|-------|----------|
| 10月13日 | 10月11日 | 9月21日 | 9月7日 |
| 大田スポーツ大会 | 温泉津福祉大会 | 活動研修会 | ゲートボール大会 |

仁摩ブロック 7/14(金)



温泉津ブロック 6/23(金)



今年も温泉津、仁摩それぞれのブロックで高齢者の健康・生きがいづくりと会員相互の親睦を図ることで、目的に「健康スポーツ大会」が開催されました。

平成29年度健康スポーツ大会

○香典返し寄付
大田市
水 上 大屋 静 間 長 久 井 川 合
温泉津 朝富 池山 田 岩崎 朝野
鳥久井 朝山 田 岩崎 朝野
大森 中松 古渡 宮上 川財 三 稔 知 錦 松 住 山 藤 馬 向 山 岩 朝
岡山 島本 和 部 脇 本 上 間 宅 田 野 織 尾 田 下 井 庭 井 內 崎 田 村
世 フ 利 加 見 朝野
ジ 幸 恵 千 鉄 孝 信 直 恭 昭 雅 奈 誠 昇 正 美 克 将 健 樹 孝 教 恭 幸
房 美 子 德 二 彰 雄 武 幸 男 之 助 典 子 二 操 敏 明 己 志 三 夫 則 昭 也
長 見 田 平 芳 野 山 崎 安 生 大 谷 中 那 須 高 奥 太 城 石 野 岩 上 倉
見 保 勝 純 稔 勇 立 一 介 身 宣 邦 愿 隆 章 岩 麗 亮 池 龜 千 紗 大 門 英 樹
子 予 稔 朝山 朝 岩 谷 仁 摩 漆 谷 静 之 三 浦 和 好 田 中 美 喜 子 博
一 亮 池 龜 千 紗 大 門 英 樹
守 朝山 朝 岩 谷 仁 摩 漆 谷 静 之 三 浦 和 好 田 中 美 喜 子 博

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます
(平成29年6月～平成29年7月受付分順不同 敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除 法人は法人税法上の損金算入が出来ます

寄付者一覧

平成29年6月～平成29年7月受付分(順不同)

※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

平成29年7月5日からの大雨災害義援金

・川合地区社会福祉協議会
・川合地区社会福祉協議会リバース
・川合地区社会福祉協議会

心のたより
発行事業

この事業は、大田市民生児童委員協議会との共催で、大田市内にお住まいの75歳以上のひとり暮らしの高齢者の方、ご夫婦とも80歳以上の高齢者夫婦のみの世帯に、暑中見舞いをお届けすることで、声かけ・見守り等の安否確認を行うことを目的に実施しています。

宛名書きは、担当地域の民生児童委員さんにご協力いただきました。

ハガキを受け取られた方からは、さっそくお礼の電話や葉書をいただいてあります。



【ファードバンク事業関係】
○食品の寄贈について
義援金へのご協力
ありがとうございました

・中国電力株式会社 倉吉電力所
他多数の方々にご協力いただきました。

【ファードバンク事業関係】

以上、968,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

○一般寄付について
朝山 岩谷 仁摩 漆谷 千紗 大門 英樹
東京都 池亀 静之 三浦 和好 田中美喜子 博
朝山 岩谷 仁摩 漆谷 千紗 大門 英樹
東京都 池亀 静之 三浦 和好 田中美喜子 博

平成30年度介護福祉士等修学資金

介護福祉士等資格取得のための学費を無利子で貸付けします！

養成施設卒業後、介護福祉士等登録のうえ県内で介護等業務に一定の期間従事した場合、返還が全額免除されます！

☆募集期間：8/1～10/31

☆貸付限度額：月額5万円

※介護福祉士国家試験受験対策費用の加算があります

※低所得世帯等には入学準備金・就職準備金・生活費加算があります

☆返還免除：養成施設卒業後、1年以内に県内の介護福祉施設や事業所などで、福祉士として介護等の業務に5年間（過疎地域等は3年間）従事した場合

※詳細は島根県社会福祉協議会

ホームページをご覧ください

島根県社会福祉協議会 検索

【お問い合わせ先】島根県社会福祉協議会 (0852)32-5996

職人の技で住宅修繕ボランティア

6月25日、大田市建築組合（笠木定組合長）による、住宅修繕ボランティアが行われました。

この活動は、全国建設労働組合総連合が地域に根ざした建築活動を呼びかける「住宅デー」に合わせ、大田市民生児童委員協議会の協力を得て、市内の高齢者宅を対象に住宅修繕活動に取り組まれてあります。

今年は総勢8名の組合員のみなさんが長久町内で希望のあった2件の住宅にて、活動されました。

住み慣れた家での安心した生活を送れるよう、本活動が果たす役割の大きさを感じる一日でした。

